

2. 地方創生・産業高付加価値化と一体となったGX開発の実現

脱炭素へのソリューションを共創 GX開発×地方創生・新産業構造

- 世界的なインフレや金利上昇による資機材の高騰などにより、GXサプライチェーン構築にかかるコストが増加
- GXを社会に定着させるためには、GXを産業の高付加価値化とセットで推進することが必要

- 地方においては、豊富な自然資本を活用した高付加価値な農水産物や製品・サービスを生産しているにもかかわらず、その利益が地域に還元されない構造があり、地域・産業の空洞化が進んでいる
- 「よいものを創った人にその利益が還元できるモデル」を地場産業の方々と共創することを通じて、クリーンな電気を地産地消する仕組みを構築

- 工業地域においては、水素アンモニア等の受入・供給基盤を多くの産業と共有化することを前提にした産業構造の高付加価値化を推進
- クリーン原燃料を使用した製品を産業間で受け渡ししながら、高度に差別化された最終製品を社会に提供する「クリーン産業連関」を構築

地域のみなさま

地域・産業の空洞化阻止

国際競争力を高める高付加価値化

JERA

豊富な再エネ開発適地と当社の開発体制

当社水素燃料基地周辺の産業集積

地方創生と一体となったGX開発

「地方創生」の共創

地域自然資本の
最大活用

地域に利益還元できる
産業モデルの創出

+

洋上風力の地産地消



産業の高付加価値化と一体となったGX開発

「産業高付加価値化」の共創

エネルギー源・
原料転換

プロセス転換

共同での
価値転換

+

水素アンモニア受入、供給基盤の共有



当社の販売モデル：“エネルギーを通じた価値共創企業”へと転換

JERA

2. 地方創生・産業高付加価値化と一体となったGX開発の実現

地域の再エネを活用し、地域産業の高付加価値化へ

- 地元の自然資本を活かした、付加価値の高い商品・製品を適正な価格で販売できる仕組みを共創

- さらに、カーボンフリーの電気で作られる水産物や農作物が、より高付加価値な商品として環境志向を持つ消費者などに受容される地産地消モデルを構築



STEP1

地域に利益が還元される仕組みを創る

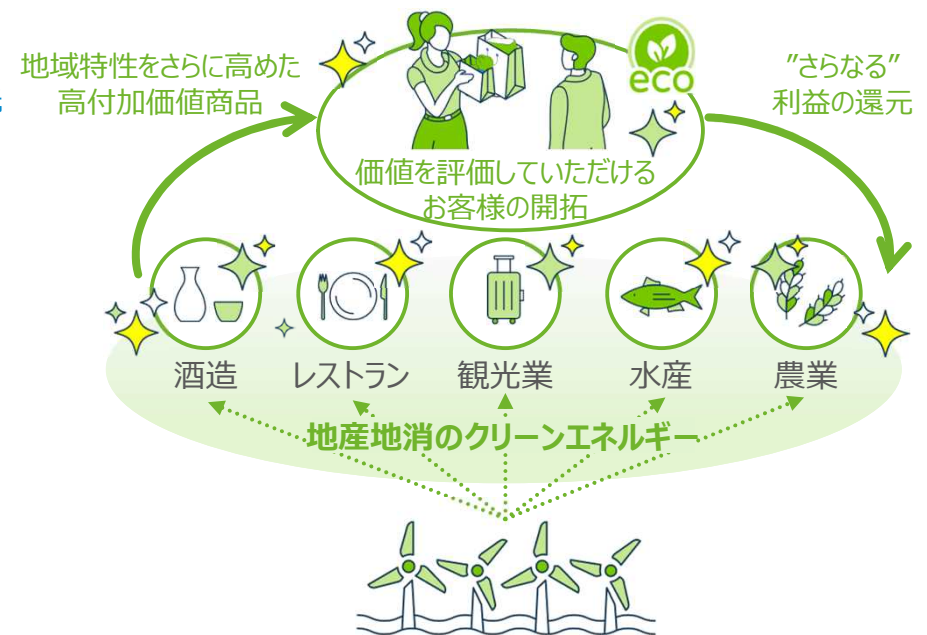


JERA : 販路開拓の支援/行政も交えた新しい流通の枠組み作り



STEP2

カーボンフリー電力によるさらなる高付加価値化

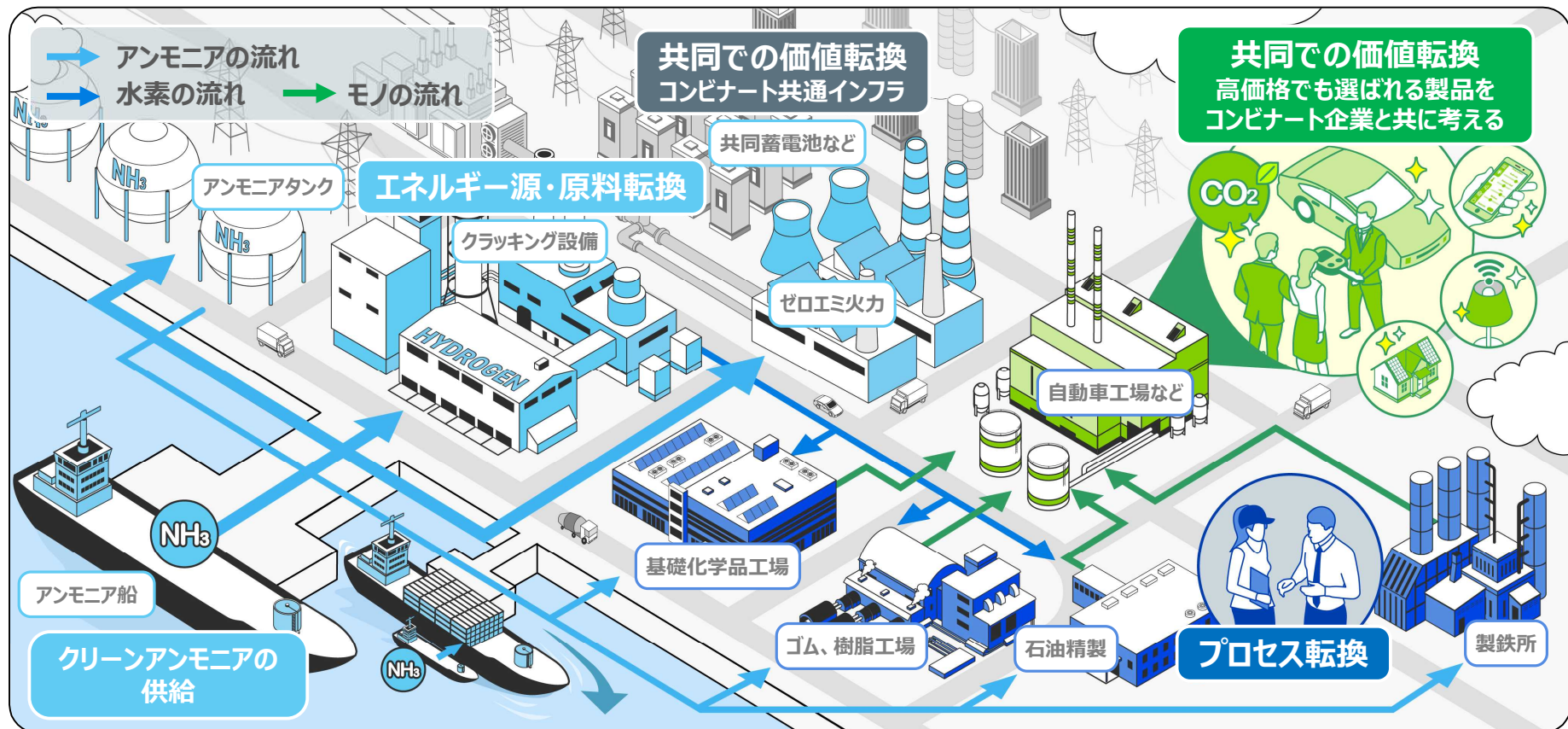


JERA : 洋上風力・エネルギーサービス

2. 地方創生・産業高付加価値化と一体となったGX開発の実現

クリーン燃料による新たな産業連関モデル構築を通じた高付加価値化

- 水素アンモニアなどカーボンフリーのエネルギーへの転換を志向するお客さま（パートナー）と共同でインフラを活用するなどして、コンビナートに集積する産業全体を高付加価値化
- JERA火力発電所のゼロエミッション化のための大規模な水素アンモニア燃料基地をコンビナートへの脱炭素熱源・材料供給基地に
- 隣接コンビナートの基礎化学品工場、ゴム・樹脂工場・石油精製所などを転換、また、プロセス転換やDX化を支援



※クラッキング：大きな分子をより小さな分子に分解する化学反応。アンモニアを熱分解して水素と窒素に分離し、水素を取り出す技術をアンモニアクラッキングという

© 2025 JERA Co., Inc. All Rights Reserved.

2. 地方創生・産業高付加価値化と一体となったGX開発の実現

GXが根付く豊かな社会にむけて

- ・ガス火力、水素アンモニア火力、再エネそれぞれの特性を生かしたエネルギーメニューを、ご提供する価値に応じた価格でご提供します
- ・これを地方創生、産業高付加価値化と一体で行い「よいものを応分の価格で創り、届けられる」構造を共創します
- ・その社会の中で、GXを価値あるものとして定着させます

JERAは、価値あるものを応分の価格で提供でき、消費できる豊かな社会を目指します

価値あるメニューを価値に応じた価格でご提供

ガス・LNG

需要増・需要変動に
即応できる低炭素エネルギー

水素アンモニア

需要変動に即応できる
炭素フリーエネルギー

再エネ

国産・炭素フリーエネルギー



よいものを応分の価格で共に創り、届ける共創

**地方創生
(農林水産業等)**

再エネ地産地消とDXで
地方の魅力と価値付け
➡自治体、農林水産事業者との連携

**産業構造
高付加価値化
(コンビナート等)**

サプライチェーン全体のGXによる
高付加価値化
➡隣接事業者とのパートナー連合組成



GXが定着する社会の実現

